

## はじめにお読みください

このたびは、弊社の内蔵 DAT72 ユニット(以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の取扱説明書をご覧になる場合は、下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2013 年 11 月

## 1 添付品がそろっていることを確認してください。

### PY-DT101 の添付品

- 内蔵 DAT72 ユニット
- クリーニングカセット
- 保証書
- 接続ケーブル [一式] \*1
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- オプション製品に関するユーザ情報

### PYBDT101 の添付品

- 内蔵 DAT72 ユニット \*2
- クリーニングカセット
- 保証書 \*3
- 接続ケーブル [一式] \*2
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

### PY-DT102 の添付品

- 内蔵 DAT72 ユニット
- クリーニングカセット
- 保証書
- 接続ケーブル [一式] \*1
- ネジ [4 本]
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- オプション製品に関するユーザ情報

### PYBDT102 の添付品

- 内蔵 DAT72 ユニット \*2
- クリーニングカセット
- 保証書 \*3
- 接続ケーブル [一式] \*2
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

### PY-DT103 の添付品

- 内蔵 DAT72 ユニット (ドライブケース付)
- クリーニングカセット
- 保証書
- 内蔵 USB ケーブル 及び DC 延長ケーブル \*1
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- オプション製品に関するユーザ情報

### PYBDT103 の添付品

- 内蔵 DAT72 ユニット（ドライブケース付） \*2
- クリーニングカセット
- 保証書 \*3
- 内蔵 USB ケーブル 及び DC 延長ケーブル \*2
- 富士通バックアップデバイスの情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

\*1: 標準型名 (PY-DT101, PY-DT102, PY-DT103) には、本製品と搭載可能なサーバ本体を接続するためのケーブル一式が添付されています。ご使用のサーバのマニュアルを参照し、適切なケーブルをご使用ください。

\*2: BTO 型名 (PYBDT101, PYBDT102, PYBDT103) の場合は、サーバ本体に組み込まれています。

\*3: BTO 型名 (PYBDT101, PYBDT102, PYBDT103) の場合は、サーバ本体の保証書に含まれます。

## 2 設置環境について

ホコリの少ない環境への設置をお願いします。

本製品にセットされた磁気テープ媒体は、データ記録面が装置内部で露出するため、設置環境（特に塵埃）の影響を受けやすい傾向があります。

一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお勧めします。

## 3 本装置の搭載・接続について

- ・本製品をサーバに搭載する際は、サーバ本体の『アップグレード&メンテナンスマニュアル』または『オプションガイド』または『オペレーティングマニュアル』などのマニュアルに従って搭載してください。

※ サーバ本体へ 3.5 インチタイプの本製品 (PY-DT102, PYBDT102) の取り付けにネジが必要な場合で、サーバ本体のマニュアルに取り付けネジの指定がない場合は、本製品に添付されているネジを使用してください。

## 4 デバイスドライバのインストールについて

➤ ご使用のオペレーティングシステムに応じて手順が異なります。

- ・本装置を Windows にてご使用になる場合は、USB ポート用の MSC(Mass Storage Class)ドライバとテープ装置用のドライバの 2 種類のインストールが必要です。(Windows Server 2012 R2 をご使用の場合は、MSC(Mass Storage Class)ドライバのインストールは必要ありません。)

後述の『デバイスドライバのインストール手順』を参照してください。

- ・Linux ベースのオペレーティングシステムをご使用の場合は、デバイスドライバのインストールは必要ありません。

➤ デバイスドライバのインストール手順

- ◇ 弊社 Web サイトからダウンロードしたデバイスドライバを使用する場合  
ドライバに同梱されている readme を参照し、ドライバをインストールしてください。

- ◇ ServerView Suite DVD1 をご使用になる場合

以下のフォルダに格納されている readme を参照し、ドライバをインストールしてください。  
¥DRV¥TAPE¥HP¥ALL¥Windows

➤ 最新のデバイスドライバは以下のサイトからダウンロードできます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

➤ **本製品を Windows Server 2012 でご使用になる場合**

本製品を Windows Server 2012 でご使用になる場合は、  
「内蔵 DAT72/DAT160 ユニット デバイスドライバ for Windows Server」の“V3.0L00”以降の版数をご使用ください。  
尚、本デバイスドライバを含む最新版は、弊社 Web サイト(以下)よりダウンロードできます。  
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

➤ **本製品を Windows Server 2012 R2 でご使用になる場合**

本製品を Windows Server 2012 R2 でご使用になる場合は、  
「内蔵 DAT72/DAT160 ユニット デバイスドライバ for Windows Server 2012 R2」の“V1.0L10”以降の版数をご使用ください。  
尚、本デバイスドライバを含む最新版は、弊社 Web サイト(以下)よりダウンロードできます。  
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

## 5 バックアップソフトウェアについて

本装置をサポートするバックアップソフトウェアに関する情報は、以下を参照ください。

- ・ CA ARCserve Backup をご利用になる場合  
<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>
- ・ NetVault をご利用になる場合  
<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>
- ・ Symantec Backup Exec をご利用になる場合  
<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/>

## 6 クリーニングについて

本装置は以下の場合にクリーニングが必要です。

- ・ クリーニング要求(Clean LED 点滅)があった場合  
本製品は、突発的に磁気ヘッドにゴミがついた場合や、データカートリッジ（磁気テープ媒体）が痛んでいた場合にクリーニング要求状態になります。
- ・ 定期的なクリーニング  
内蔵 DAT72 ユニットは使用・未使用に関わらず、浮遊塵埃などの影響により磁気ヘッドが汚れるため、定期的なクリーニングが必要です。
  - 定期的に使用する場合 : 1 週間毎(1 週間に 25 時間以上バックアップする場合は、25 時間使用毎)
  - 定期的に使用しない場合 : 1 ヶ月毎または 25 時間使用毎

定期的なクリーニングを忘れない為、一般的には「毎週月曜の朝」などクリーニングを実施する曜日を決めて運用するなどをお勧めします。

定期的なクリーニングを忘れないために、OS の標準機能を利用し定期クリーニングを通知する手法『OS 標準機能でテープ装置の定期クリーニングを通知する方法』を公開しております。

公開サイト (以下、URL) よりダウンロードできます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/technical/construct-guide/backup/>

※ 本装置の取扱説明書で紹介されている『Tape Maintenance Advisor』は、PY-DT101, PYBDT101, PY-DT102, PYBDT102, PY-DT103, PYBDT103 ではご利用になれませんので、上記の『OS 標準機能でテープ装置の定期クリーニングを通知する方法』をご利用ください。

## 7 ご使用上の注意

---

本装置をご使用になる上で以下のような注意事項がございます。  
内容をご確認の上、本装置をご使用くださいますようお願い致します。

➤ **PRIMERGY TX120 S3 で本装置をご使用になる場合の注意事項**

ソフトウェア上から媒体排出の操作を行う場合は、必ずサーバ本体のドライブカバーを外してから実施してください。

ドライブカバーを閉めた状態でソフトウェア上から媒体排出操作を行った場合、ドライブカバーと媒体が接触し媒体排出が正常終了せず、ソフトウェアにエラーが通知される場合があります。